

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

# FINE FINET

ファイネット発行

2021

Vol.57

Summer

[FINET INFORMATION]

## 2021年度 ファイネットユーザー会を開催

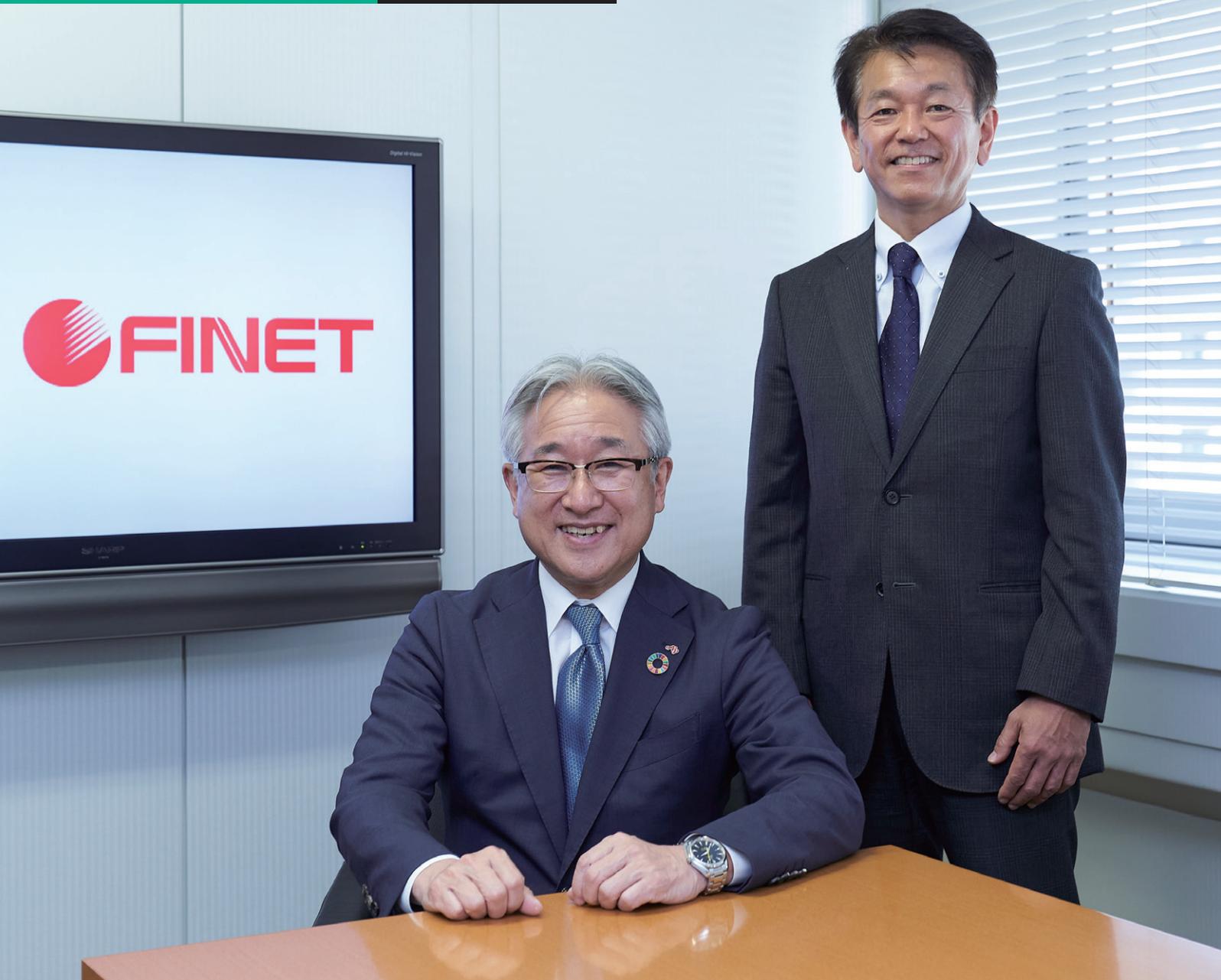
[FINET INFORMATION]

「適格請求書等保存方式」(インボイス制度)  
導入まで、あと2年と少し! 準備は進んでいますか?

[FINET INFORMATION]

商品情報授受の標準化に向けた業界の取り組み  
業界標準商品規格書「PITS標準フォーム」の  
普及推進に向けて





(写真左から)代表取締役社長 西井孝明、代表取締役専務 久我章良

# 2021年度 ファイネットユーザー会を開催

2021年5月25日(火)にファイネットユーザー会をオンラインにて開催いたしました。開催後1週間実施したアーカイブ配信を含め113社、239名と数多くの皆様にご視聴いただきました。改めて御礼申し上げます。

当日は弊社代表取締役社長 西井孝明の挨拶に始まり、続いて代表取締役専務 久我章良が事業方針と取組み内容について説明いたしました。

ご講演は株式会社デジタルシフトウェーブ代表取締役社長 鈴木康弘様に「迫りくるDXの波に日本企業はどう立ち向かうか」と題してお話いただきました。

## 社長挨拶

平素より弊社社業に格別のご高配を賜り、改めて心より御礼申し上げます。

昨年度の利用者は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。本年はオンライン形式にて開催する運びとなり、こうしてご報告する場が持てたことを大変有難く思います。

さて、昨年より新型コロナウイルス感染症が世界に大きな影響を与えています。未だに多くの国や地域で猛威を振るっているような状況です。国内のワクチン接種についても9月末までに調達できる目処がついたという報道がありましたが、広く接種が進む時期はまだ不透明な状況です。従って、いましばらくはこのような環境が続くことへの覚悟が必要でしょう。

そうした中で昨年来、感染症の拡大を防ぐためにテレワークや、まさにこの会のようなオンライン配信など、ビジネス活動においても密を回避するための新しい行動様式が浸透しました。また日々の暮らしの中でも、EC市場がさらに拡大し、リアルな店舗の利用からインターネットで購入して宅配してもらうというスタイルが様々な消費財で浸透しつつあります。

こうした働き方や日常生活の変化に伴ってデジタル化が急速に進みつつあり、私達の業界でもこれに迅速に適応していく必要に迫られているのではないのでしょうか。特にDX(デジタルトランスフォーメーション)については「ITを活用してビジネスモデルを抜本的に変革する」という取り組みであり、企業が環境の変化に適応するための手段の一つとして近年多く取り上げられています。本日はこのDXについて株式会社デジタルシフトウェブ代表取締役社長の鈴木康弘様に後ほどご講演頂きます。

さて、弊社VANサービスにつきましては昨年度も安定的にサービス提供を行うことができました。データ件数はおよそ1億件増えて31億件に達し、ユーザー数も2,000社を超えました。これまで着実に拡大を続けることが出来ておりますのは、ひとえにユーザーの皆さまがそれぞれに、ご活用の範囲を広げて頂いているおかげでございます。

引き続き「業界共有の情報インフラ」を提供する企業としてその役割を果たすべく、「円滑なサービス運営」

「顧客満足度向上」「業界貢献」の3つの事業目標に取り組んでまいります。

1つ目の「円滑なサービス運営」は「業界共有インフラとしてサービスを安定的に運営し、利便性を高めていくこと」を目指してまいります。

2つ目の「顧客満足度向上」は「業界内へのより一層のサービス普及を通じてユーザーに貢献すること」を目指してまいります。

3つ目の「業界貢献」は「事業収益の範囲外においても、業界の標準化に貢献すること」を目指してまいります。

また、急速に進むデジタル化の中で、その環境変化に対応するための具体的なテーマとして主に2つの取り組みを進めております。

1つは通信事業者が電話回線でのデータ伝送サービスを終了する事への対応です。弊社のVANサービスも創業以来、電話回線を利用したデータ交換をベースにしており、いまだに多くのユーザーの皆さまが電話回線でファイネットに接続されているような状況です。これを2022年末までにインターネットを利用した接続方法に移行して頂く必要があり、まさに移行の推進に取り組んでいるところです。

環境変化に対応するためのもう一つの取り組みは、時流に沿った新たなサービスの検討です。やはり、いまだに多く残っている紙ベースの業務をいかにデジタル化していくか、という事がユーザーの皆さまから多く聞かれる課題であり、その課題解決に繋がるサービスを検討しているところです。これらの具体的な取り組みについては、このあと久我より皆さまにご報告申し上げます。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。ファイネットはこれからもサービス品質、サービス機能、ユーザーサポート力を不断に向上させ、ユーザーの皆さまをつなぎ、ささえてまいります。結びにあたり、本日ご参加の皆さまのご健勝と、益々のご発展を心より祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。



代表取締役社長 西井孝明

## 商品流通VANサービス 2020年度 実績報告

- 1.データ件数……………**31.1**億件(前年比103%)
- 2.接続数※……………**12,389**接続(前年比106%)

※ユーザー間の企業単位でのデータ交換関係数

2020年度はテレワークの急速な普及などに伴い、例年にも増してユーザー間の接続拡大が進みました。

## 取組み内容報告

### 1. EDI推進支援策

#### (1) トライアル環境

VANサービスの機能・操作感などを無料で体験できる環境……………2020年11月リリース

#### (2) VANサービス紹介動画

より分かりやすくサービス内容をお伝えするための動画……………2021年6月以降順次公開予定

- ・会社紹介動画
- ・サービス紹介動画
- ・Host接続説明動画
- ・WebEDI操作動画(受発注編、出荷案内編)

### 2. 新たなサービスの検討

ユーザー様の業務効率化に寄与することを目的として検討を進めてまいります。

### 3. PSTNマイグレーション対応

NTTによるINSネットサービス終了を受け、従来手順(JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順)からインターネット手順への移行を推進しております。

#### (1) Host接続でJCA手順、全銀協BSC手順をご利用のユーザー様

2022年11月末サポート終了 ⇒ サポート終了までにインターネット手順への移行をお願いいたします。

#### (2) Host接続で全銀協TCP/IP手順をご利用のユーザー様

2022年12月末までの手順移行を推奨しております。

### ご講演

## 「迫りくるDXの波に日本企業はどう立ち向かうか」

当日のご講演では、そもそもDXとは何か、経営者は何をすべきか、今後どういった業務改革が必要なのかという内容を中心にDXとの向き合い方について詳しくご講演いただきました。

株式会社デジタルシフトウェーブ 代表取締役社長 **鈴木 康弘** 様

1987年富士通に入社。SEとしてシステム開発・顧客サポートに従事。96年ソフトバンクに移り、営業、新規事業企画に携わる。99年ネット書籍販売会社、イー・ショッピング・ブックス(現セブンネットショッピング)を設立し、代表取締役社長就任。2006年セブン&アイHLDGS.グループ傘下に入る。14年セブン&アイHLDGS.執行役員CIO就任。グループオムニチャネル戦略のリーダーを務める。15年同社取締役執行役員CIO就任。16年同社を退社し、17年デジタルシフトウェーブを設立。同社代表取締役社長に就任。デジタルシフトを目指す企業の支援を実施している。SBIホールディングス社外役員、日本オムニチャネル協会 会長、学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学 客員教授を兼任。

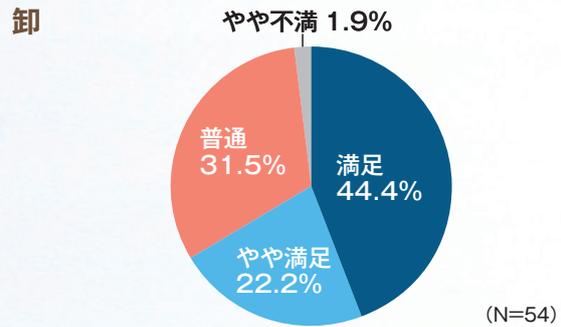
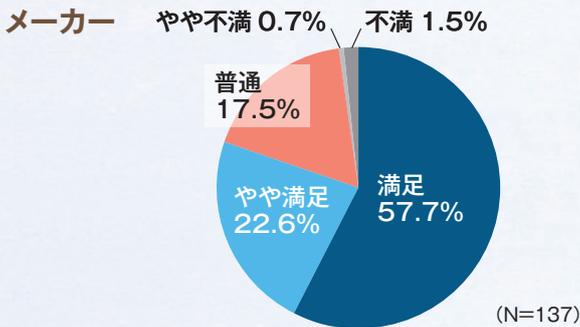


# ユーザーアンケート報告

本年2月にユーザーアンケートを実施いたしました。多くのユーザー様にご協力をいただき誠にありがとうございます。ご回答頂いたユーザー様にはアンケート調査報告書(全33ページ)を差し上げました。来年もユーザーアンケートを実施予定ですので、ご協力の程よろしくお願いいたします。今回のアンケート調査報告書から一部抜粋してご紹介いたします。

## サービス品質について

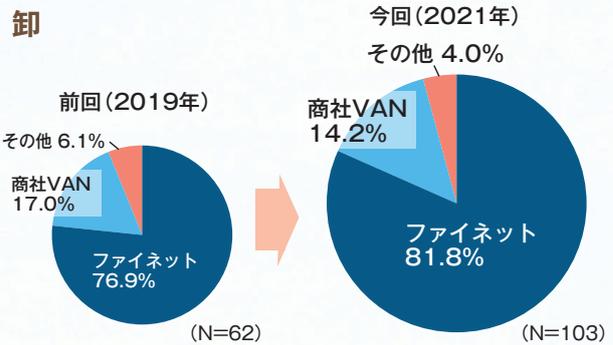
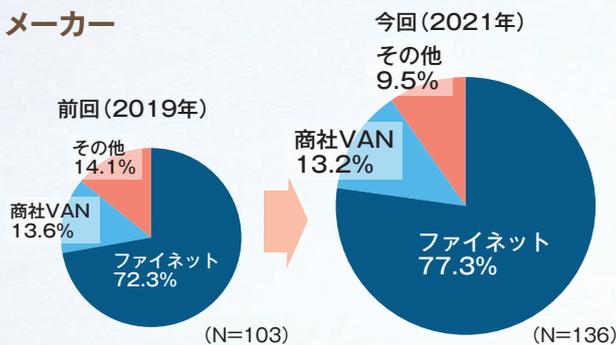
Q ヘルプデスクの回答はわかりやすかったですか。



約7割のユーザー様にご満足いただいておりますが、一層の対応品質向上に努めてまいります。

## データ交換のご利用手段

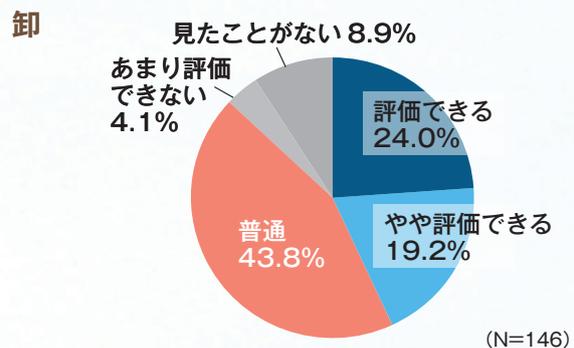
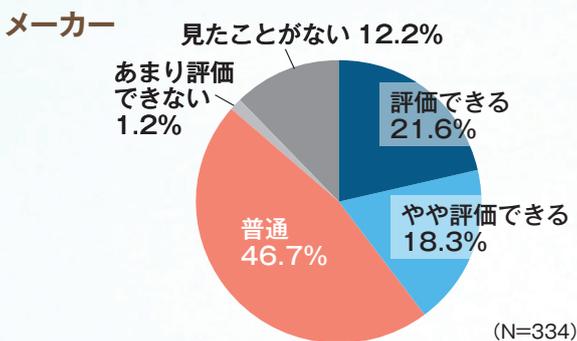
Q データ交換のご利用手段はどのような構成ですか？



酒類・加工食品業界No.1のシェアをいただいております。PSTNマイグレーション対応で利用VANを集約する動きがあるようです。

## 広報活動について

Q 「FINE FINET」について評価をお聞かせください



より一層の誌面充実にも努めてまいります。

またFINE FINETは弊社ホームページでもご覧いただけます。 URL <https://www.finet.co.jp/>

# 「適格請求書等保存方式」(インボイス制度)

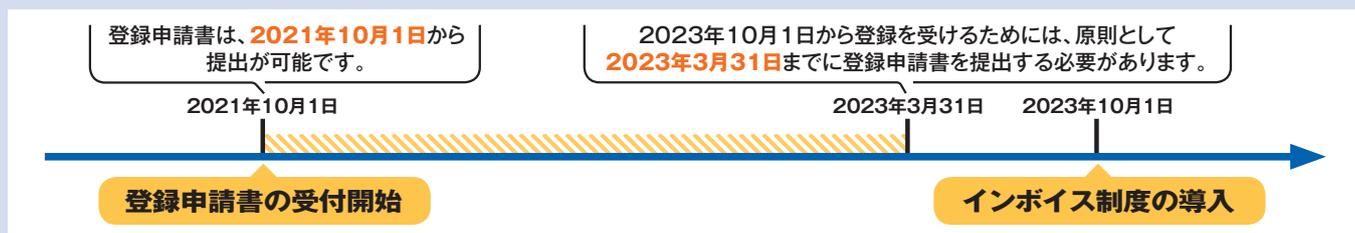
## 導入まで、あと2年と少し! 準備は進んでいますか?

2019年10月、消費税および地方消費税(以下、消費税)の税率は、10%に引き上げられ、同時に「軽減税率制度」が実施されました。さらに、2023年10月から「適格請求書等保存方式」(インボイス制度)が導入され、「適格請求書等」の保存が仕入税額控除の要件となります。

POINT  
01

### 適格請求書発行事業者(登録事業者)のみが 適格請求書(インボイス)を交付することができます

#### 制度導入までのスケジュール



登録事業者になろうとする事業者の方は、「適格請求書発行事業者の登録申請書(登録申請書)」の提出が必要です。登録申請書提出後、税務署から登録番号などの通知が行われます。

※登録番号については、法人番号を有する事業者の方は、「T+法人番号」、それ以外の事業者の方は、「T+13桁の数字(新たな固有の番号)」が登録番号となります。

出展:国税庁パンフレットを参考 [https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020009-098\\_03.pdf](https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020009-098_03.pdf)

POINT  
02

### 適格請求書(インボイス)に記載する消費税額の 端数処理のルールを順守しなければなりません

- 「税率ごとに区分した消費税額等」に1円未満の端数が生じる場合、一の適格請求書につき、税率ごとに1回の端数処理を行います。  
※端数処理は、「切り上げ」、「切り捨て」、「四捨五入」など任意の方法で行うこととなります。
- したがって、「税率ごとに区分して合計した対価の額」に税率を乗じるなどして、計算することとなります。例①  
たとえば、一の適格請求書に記載されている個々の商品ごとに消費税額等を計算し、端数処理を行い、その合計額を「税率ごとに区分した消費税額等」として記載することは認められません。例②
- 以上のことから、明細行ごとに端数処理を行っている場合、**請求書等に係るシステム改修が必要**となります。

#### 例① 認められる例

請求書 ○年○月○日				
○○(株)御中		(株)○○○○○		
※は軽減税率対象		(T1234567890123)		
請求金額	60,197円(税込)			
品名	数量	単価	税抜金額	消費税額
トマト※	83	167	13,861	-
ピーマン※	197	67	13,199	-
花	57	77	4,389	-
花鉢	57	417	23,769	-
8%対象計	27,060		端数処理	→2,164
10%対象計	28,158		端数処理	→2,815

#### 例② 認められない例

請求書 ○年○月○日				
○○(株)御中		(株)○○○○○		
※は軽減税率対象		(T1234567890123)		
請求金額	60,195円(税込)			
品名	数量	単価	税抜金額	消費税額
トマト※	83	167	13,861	1,108
ピーマン※	197	67	13,199	1,055
花	57	77	4,389	438
花鉢	57	417	23,769	2,376
8%対象計	27,060		合計	2,163
10%対象計	28,158		合計	2,814

#### 計算例

##### 例①

・税率ごとに個々の商品に係る「税抜金額」を合計  
→8%対象:27,060円(税抜) 10%対象:28,158円(税抜)  
・それぞれ、消費税額を計算(税率ごとに端数処理1回ずつ)  
→8%対象:27,060×8/100 = 2,164.8→2,164円  
→10%対象:28,158×10/100 = 2,815.8→2,815円  
⇒適格請求書の記載事項として**認められる**

##### 例②

・個々の商品ごとに消費税額を計算(その都度端数処理)  
・計算した消費税額を税率ごとに合算  
⇒個々の商品の数だけ端数処理を行うこととなり、  
適格請求書の記載事項として**認められない**  
※個々の商品ごとの消費税額を参考として記載することは、差し支えありません。

出展:国税庁パンフレットを参考  
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>

これ以外にも「適格請求書等保存方式」(インボイス制度)の導入により、  
現行の区分記載請求書等保存方式から変更される点もございます。詳細は、国税庁までお問い合わせください。

インボイス制度に関する一般的なご相談の専用ダイヤル  
【専用ダイヤル】0120-205-553(無料) 【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く)

国税庁ホームページ  
<https://www.nta.go.jp>

# 商品情報授受の標準化に向けた業界の取り組み 業界標準商品規格書「PITS標準フォーム」の普及推進に向けて

当社が事務局を務めているPITS(ピッツ)では、食品業界における商品情報のスムーズな授受を目指して、製・配・販3層および業界団体、データベース事業者が協力して、法令や食品流通の商習慣などを考慮した上で、必要最低限の商品情報項目からなる業界標準の商品規格書「PITS標準フォーム」を策定し、その普及推進の取り組みを行っています。

## 「PITS標準フォーム」とは？

商品規格書の利用者である外食業や小売業などの顧客(消費者)からよく求められる品質系情報をカバーした89項目からなる業界標準の商品規格書です。



PITS商品規格書		商品名	2020/11/20
商品名	本協賛品 牛乳コロッケ	メーカー名	株式会社ピッツ
共通商品コード	491224679201	規格/仕様	100g
製品コード	12345	製造/仕様	100g
製品名	牛乳コロッケ	製造/仕様	100g
製品説明	PITS 協賛品 牛乳コロッケ 100g		
原産国	日本	製造/仕様	100g
食品添加物	PITS 協賛品 牛乳コロッケ 100g		
アレルギー物質	PITS 協賛品 牛乳コロッケ 100g		
栄養成分	PITS 協賛品 牛乳コロッケ 100g		

標準化された商品規格書をご活用いただくことで、作成から提出、収集に至るまでのワークフローがシンプルになり、スムーズな商品情報の授受が実現します。

- 製造業** ▶ **いつでも誰でも提供できる項目なので商品規格書の作成が簡単に!**
- 卸売業** ▶ **項目、フォームが統一され、商品規格書の受け渡し管理が容易に!**
- 外食業  
小売業など** ▶ **通常の顧客対応に必要な品質系情報の収集がスピーディーに!**

## 「PITS標準フォーム」の普及推進に向けて

PITSでは2021年度の活動において、PITSに加盟されている業界団体様および商品データベース事業者様との協働により、外食業や小売業などのみなさまに幅広く「PITS標準フォーム」の存在と活用メリットをご理解いただくためのPR活動を展開しています。

ファイネットでは、どなたでも「PITS標準フォーム」をご利用いただけるよう、ホームページで「PITS標準フォーム」およびPITS標準フォームの作成ツールを公開しておりますので、是非ともご活用ください。

PITSの取り組み、標準フォームに関する詳細はこちら → <https://www.finet.co.jp/hyojyunka/pits.html>  
 PITSに関するお問い合わせ先: PITS事務局(ファイネット企画部) Mail : [planning@finet.co.jp](mailto:planning@finet.co.jp)

## FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET(ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

## 【連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部 e-mail : [marketing-promotion@finet.co.jp](mailto:marketing-promotion@finet.co.jp)

## ファイネットでは、「インターネット手順」への移行を推進しています

東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社(以下、NTT東西)の公表内容

- ・公衆交換電話網(PSTN)からIP網への移行を2024年1月より開始
- ・同時にINSネット(デジタル通信モード)の提供を終了

これにより長い間EDI通信で利用されてきた「全銀協TCP/IP手順」などの従来手順が、ご利用いただけなくなる可能性があります。

さらに、NTT東西以外のISDNサービスをご利用の場合は、2023年1月から処理遅延が発生する可能性についても示唆されています。

これに伴い、弊社では「インターネット手順」への移行を、**2022年12月までに**実施いただくことを推奨しております。手順移行に関するご質問・ご相談等ございましたら、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

## 【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)

## ご担当者情報を最新の状態に保つためにご協力をお願いいたします

弊社では、サービスに関する重要なお知らせをお届けするため、ご加入ユーザー様にはデータ交換に関する窓口の登録を行っていただいております。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、手続きサイトより「担当者登録状況」をご確認のうえ、ご担当者の登録情報に変更がある場合は、お早めに手続きを行っていただきますようお願いいたします。

## 【お申込方法】

(1) 弊社、手続きサイトからお申込ください。

手続きサイトURL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

(2) 手続きサイトのご利用方法がご不明の場合のお問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)



**FINE FINET** (ファイン・ファイネット)

Vol.57 2021 Summer 2021年7月1日発行

[発行](株)ファイネット 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル7階  
TEL.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499 [編集・発行責任者] 久我 章良



<https://www.finet.co.jp>